

研究名：人工呼吸器関連肺炎発生率と人工呼吸器関連肺炎予防策の

取り組み状況の実態

1. 研究の目的

人工呼吸器関連肺炎（ventilator-associated pneumonia：以下、VAP）の予防にはVAP予防バンドルが推奨されています。バンドルとは、科学的に有用性のある数種類の介入方法を単独で行うのではなく、一連の予防策を束にして（束：bundle）行うことで高い効果を得ようとする方法です。バンドルの内容は、職員の教育、頭部挙上、口腔ケア、呼吸器回路・チューブの管理、持続吸引の検討、適切な鎮静・抜管の検討、及び急性期リハビリテーション、等です。当院PICUにおいてもVAP予防対策を集約・確立し、教育や業務整理を継続して実施しています。これまで取り組んできた対策とVAP発生率の関係を調査し、より有効な予防策を検討します。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：2017年1月～2018年12月までに当院PICUに入院し人工呼吸器を装着されていた患者さん。
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2020年3月
- ③ 研究方法：VAP予防に寄与すると考えられ導入された対策について、その実施状況とVAPの発生率を後方視的に調査・検討します。

3. 研究に用いる情報の種類

VAP発生率、延べ挿管患者数、延べ挿管日数、挿管理由、年齢、体重、PIM2、PICU入室理由、VAPバンドルケア状況、スタッフ教育内容等

※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報には調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4. 情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、12月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 看護部 金子 節志

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：5326）

○研究責任者：

国立成育医療研究センター 看護部 金子 節志